



サポート ONTAP automation

NetApp
January 12, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-automation/workflows/wf_ems_prepare.html on January 12, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

サポート	1
EMS	1
ONTAP REST APIを使用してEMSサポートサービスを管理する準備	1
ONTAP REST APIを使用したEMSログイベントの一覧表示	1
ONTAP REST APIを使用したEMS設定の取得	4
ONTAP REST APIを使用したEMS通知の作成	4

サポート

EMS

ONTAP REST APIを使用してEMSサポートサービスを管理する準備

ONTAPクラスタのイベント管理システム（EMS）処理を設定し、必要に応じてEMSメッセージを取得できます。

概要

ここでは、ONTAP EMSサービスの使用方法を示すワークフローの例をいくつか紹介します。ワークフローを使用してREST API呼び出しを実行する前に、["ワークフローを使用する準備をします"](#)。

Pythonを使用する場合は、スクリプトも参照してください。["events.py"](#) EMS関連の一部のアクティビティを自動化する方法の例を参照してください。

ONTAP REST API コマンドと ONTAP CLI コマンドの比較

多くのタスクでは、ONTAP REST APIを使用すると、同等のONTAP CLIコマンドよりも少ない呼び出しで済みます。次の表に、API呼び出しと、各タスクに必要なCLIコマンドを示します。

ONTAP REST API	ONTAP CLI
GET /support/ems	event config show
ポスト/サポート/EMS /デステイネーション	1. イベント通知の送信先を作成します 2. イベント通知は "" を作成します
「get/support/ems/events」	「event log show」を参照してください
「POST/support/ems/filters」と入力します	1. 'event filter create -filter-name <filtername>'` 2. 'event filter rule add-filter-name <filtername>'`

関連情報

- ["EMSを示すPythonスクリプト"](#)
- ["ONTAP REST API :重大度の高いイベントの通知を自動化します"](#)

ONTAP REST APIを使用したEMSログイベントの一覧表示

すべてのイベント通知メッセージを取得することも、特定の特性を持つメッセージのみを取得することもできます。

HTTPメソッドとエンドポイント

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

HTTP メソッド	パス
取得	/api/support/ems/events

処理のタイプ

同期

Curlの例の追加入力パラメータ

すべての REST API 呼び出しに共通するパラメータに加えて、この手順の curl の例では次のパラメータも使用されます。

パラメータ	を入力します	必須	説明
フィールド	クエリ	いいえ	応答に含める特定のフィールドを要求するために使用されます。
max_records	クエリ	いいえ	1回の要求で返されるレコード数を制限するために使用できます。
LOG_MESSAGE	クエリ	いいえ	特定のテキスト値を検索し、一致するメッセージのみを返します。
message.severity	クエリ	いいえ	返されるメッセージは、次のような特定の重大度のメッセージだけに制限します。 alert。

curlの例:最新のメッセージと名前の値を返す

```
curl --request GET \
--location
"https://$FQDN_IP/api/support/ems/events?fields=message.name&max_records=1"
" \
--include \
--header "Accept: */*" \
--header "Authorization: Basic $BASIC_AUTH"
```

curlの例：特定のテキストと重大度を含むメッセージを返す

```
curl --request GET \
--location
"https://$FQDN_IP/api/support/ems/events?log_message=*disk*&message.severity=alert" \
--include \
--header "Accept: */*" \
--header "Authorization: Basic $BASIC_AUTH"
```

JSON 出力例

```
{  
  "records": [  
    {  
      "node": {  
        "name": "malha-vsimg1",  
        "uuid": "da4f9e62-9de3-11ec-976a-005056b369de",  
        "_links": {  
          "self": {  
            "href": "/api/cluster/nodes/da4f9e62-9de3-11ec-976a-  
005056b369de"  
          }  
        }  
      },  
      "index": 4602,  
      "time": "2022-03-18T06:37:46-04:00",  
      "message": {  
        "severity": "alert",  
        "name": "raid.autoPart.disabled"  
      },  
      "log_message": "raid.autoPart.disabled: Disk auto-partitioning is  
disabled on this system: the system needs a minimum of 4 usable internal  
hard disks.",  
      "_links": {  
        "self": {  
          "href": "/api/support/ems/events/malha-vsimg1/4602"  
        }  
      }  
    }  
  ],  
  "num_records": 1,  
  "_links": {  
    "self": {  
      "href":  
"/api/support/ems/events?log_message=*disk*&message.severity=alert&max_  
records=1"  
    },  
    "next": {  
      "href": "/api/support/ems/events?start.keytime=2022-03-  
18T06%3A37%3A46-04%3A00&start.node.name=malha-  
vsimg1&start.index=4602&log_message=*disk*&message.severity=alert"  
    }  
  }  
}
```

ONTAP REST APIを使用したEMS設定の取得

ONTAPクラスタの現在のEMS設定を取得できます。この処理は、設定を更新する前や新しいEMS通知を作成する前に実行します。

HTTPメソッドとエンドポイント

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

HTTP メソッド	パス
取得	/api/support/ems

処理のタイプ

同期

カールの例

```
curl --request GET \
--location "https://$FQDN_IP/api/support/ems" \
--include \
--header "Accept: */*" \
--header "Authorization: Basic $BASIC_AUTH"
```

JSON 出力例

```
{
  "proxy_url": "https://proxyserver.mycompany.com",
  "proxy_user": "proxy_user",
  "mail_server": "mail@mycompany.com",
  "_links": {
    "self": {
      "href": "/api/resourcelink"
    }
  },
  "pubsub_enabled": "1",
  "mail_from": "administrator@mycompany.com"
}
```

ONTAP REST APIを使用したEMS通知の作成

次のワークフローを使用して、選択したイベントメッセージを受信する新しいEMS通知の送信先を作成できます。

手順1：システム全体のEメール設定を構成する

次のAPI呼び出しを問題して、システム全体のEメール設定を行うことができます。

HTTPメソッドとエンドポイント

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

HTTP メソッド	パス
パッチ	/api/support/ems

処理のタイプ

同期

Curlの例の追加入力パラメータ

すべての REST API 呼び出しに共通するパラメータに加えて、この手順の curl の例では次のパラメータも使用されます。

パラメータ	を入力します	必須	説明
メールの差出人	クエリ	はい。	を設定します。 from フィールドをクリックします。
メールサーバ	クエリ	はい。	ターゲットのSMTPメールサーバを設定します。

カールの例

```
curl --request PATCH \
--location
"https://$FQDN_IP/api/support/ems?mail_from=administrator@mycompany.com&mail_server=mail@mycompany.com" \
--include \
--header "Accept: */*" \
--header "Authorization: Basic $BASIC_AUTH"
```

手順2：メッセージフィルタを定義する

API呼び出しを問題して、メッセージに一致するフィルタルールを定義できます。

HTTPメソッドとエンドポイント

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

HTTP メソッド	パス
投稿（Post）	/api/support/ems/filters

処理のタイプ

同期

Curlの例の追加入力パラメータ

すべての REST API 呼び出しに共通するパラメータに加えて、この手順の curl の例では次のパラメータも使用されます。

パラメータ	を入力します	必須	説明
フィルタ	ボディ (Body)	はい。	フィルタ設定の値が含まれます。

カールの例

```
curl --request POST \
--location "https://$FQDN_IP/api/support/ems/filters" \
--include \
--header "Accept: */*" \
--header "Authorization: Basic $BASIC_AUTH" \
--data @JSONinput
```

JSON の入力例

```
{
  "name": "test-filter",
  "rules.type": ["include"],
  "rules.message_criteria.severities": ["emergency"]
}
```

手順3：メッセージの送信先を作成する

API呼び出しを問題して、メッセージの送信先を作成できます。

HTTP メソッドとエンドポイント

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

HTTP メソッド	パス
投稿 (Post)	/api/support/ems/destinations

処理のタイプ

同期

Curlの例の追加入力パラメータ

すべての REST API 呼び出しに共通するパラメータに加えて、この手順の curl の例では次のパラメータも使用されます。

パラメータ	を入力します	必須	説明
デスティネーションの設定	ボディ (Body)	はい。	イベントの送信先の値が含まれます。

カールの例

```
curl --request POST \
--location "https://$FQDN_IP/api/support/ems/destinations" \
--include \
--header "Accept: */*" \
--header "Authorization: Basic $BASIC_AUTH" \
--data @JSONinput
```

JSON の入力例

```
{
  "name": "test-destination",
  "type": "email",
  "destination": "administrator@mycompany.com",
  "filters.name": ["important-events"]
}
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。